

## 第1回瀬戸内4県都市長会議を開催しました

平成27年10月2日（金）に、松山市内にある「道後温泉本館」において、「第1回瀬戸内4県都市長会議」を開催しました。

「瀬戸内4県都市長会」は、瀬戸内海を囲む岡山市・広島市・高松市・松山市の4市が連携して共通課題に取り組み、互いの特性を活かして相乗効果を発揮するために設立したものです。

第1回開催市である松山市の野志市長からの挨拶では、額田王の短歌を引用し、『「熟田津（にきたつ）に、船（ふな）乗りせむと、月待てば、潮（しほ）もかなひぬ、今は漕（こ）ぎ出（い）でな」は、松山からの船出をうたったものであることから、それに倣って、4市で瀬戸内海に漕ぎ出していきましょう』とのお話がありました。

また、岡山市の大森市長からは、「地域の発展には、相乗効果が期待できる広域連携が必要不可欠。瀬戸内海を介した連携を考え、指定都市同士の広島市に提案。広島市から松山市に、岡山市から高松市に声かけをしたもの」と、発足の経緯について説明がありました。

4市で連携して取り組む事項についての意見交換では、4市連携のエンブレムの作成や、瀬戸内海の良さを発信するための4市を巡る観光ルートの設定、双方向型の情報発信などの意見が出ました。

次期開催市となる岡山市の大森市長は、今回の会議で出た意見を元に、「今後、来年度に具体的に何ができるか、各市の事務方とともに整理していきたい」としました。

瀬戸内4県都市長会議当日の様子

